※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0315

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)ビジネス数学	単位数	２単位	年次	4
使用教科書	なし						
副教材等	自作教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

就職に向けて、基礎的な数的処理の演習やExcelを使った表計算を行います。数学演習で学習したSPIの問題よりも本番のテストセンターに近い問題を解くことで、計算力や思考力の向上を図ります。
何度も同じ問題の計算練習をすることで、力がついていきます。
復習をしっかりとしてください。

2　学習の到達目標

（知識及び技能）売り上げの計算やゲーム理論等の基礎的な概念や計算方法などを理解する。
（思考力,判断力,表現力等）ビジネス数学検定や SPI に出題されている問題を通して論理的に考察する力、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につける。
（学びに向かう力, 人間性等）数学的活動の楽しさや、数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c: 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	仕事算, 損益算,確率などの問題を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 データを表に整理して、適切に処理する技能を身に付けている。	N 進法, ゲーム理論等の内容において, 事象を数学的に考察し表現したり, 思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して, 数学的な見方や考え方を身に付けている。 表計算ソフトを用いて、適切な表データを整理・計算する方法を身に付けている。	様々な問題に潜む､論理や体系に関心をもつとともに, 数学のよさを認識し, それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	**お金や仕事に関係する計算**	・計算の基本・工夫 ・損益算 ・料金の割引・分割・清算 ・表計算 ・帳簿の作成 ・割合 ・仕事算	a:・ 数の計算，分数の計算ができる。 ・ある量について，文字を使った式で表すことができる。 ・ 計算の優先順位を理解し，その優先順位のとおりに計算ができる。 b:・それぞれの問題について何故その解法になるのか、理由を考えながら解くことができる。 c: ・損益算や割合などの問題を通して、日常生活と数学を結び付けて考えようとしている。	・小テスト ・定期テスト ・パフォーマンス課題	・授業プリント ・課題プリント ・小テスト ・定期テスト	・パフォーマンス課題 ・授業プリント ・課題プリント
２学期	順列や確率や速さに関する計算	・速さ・距離・時間 ・通過算 ・順列 ・組み合わせ ・表の読み取り	a:・パーミテーションとコンビネーションの計算ができる。 b:・速さと時間と距離の関係性を理解し、論理的に問題を解くことができる。 ・階乗やパーミテーションを問題に応じて使い分けることができる。 c:・順列や確率などの問題を日常の事象にあてはめ、課題解決に活用しようとしている。	・小テスト ・定期テスト ・パフォーマンス課題	・授業プリント ・課題プリント ・小テスト ・定期テスト	・パフォーマンス課題 ・授業プリント ・課題プリント
３学期	図形と計量	・ｎ進法	a:・10 進数からｎ進数に変換する方法を理解している。 ・囚人のジレンマゲームの性質を理解している。 b:・n 進数から 10 進数を考えることができる。 ・囚人のジレンマゲームのナッシュ均衡を求めることができる。 c:・ゲーム理論を日常生活に当てはめようとしている	・小テスト ・定期テスト ・パフォーマンス課題	・授業プリント ・課題プリント ・小テスト ・定期テスト	・パフォーマンス課題 ・授業プリント ・課題プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c: 主体的に学習に取り組む態度